



マルチロール漆について

漆器は手洗いという常識を覆した、画期的な「マルチロール漆」。

特徴

J COCOMOの漆器の多くは、「マルチロール漆」を使用しています。この「マルチロール漆」を使った漆器の特徴は、本漆でありながら、「食洗機使用可能」「漆が剥がれにくい」「割れにくい」といった良さをもっています。また、濁りがなく光沢度が高いのも魅力です。

漆精製法

マルチロール漆は、一般的な原液に電熱線を浴びせながらヘラでかき混ぜていく手作業による精製法ではなく、絵の具や塗料を混ぜるマルチロール(MR)機の技術を応用し、漆の原液を御影石で作られた特殊なロール機の間を通すことで、艶を左右する水分を細かく分散する新しい精製法を用いています。

漆は、液中の酵素の働きにより空気中の水分から酸素を取り込むことで、硬化が起こります。新しい精製法では、漆液に熱を加えないため、乾燥を促す酵素を弱らせる事なく精製が可能となりました。それにより乾燥硬化が高く、塗膜硬度の高い漆となり、本漆でありながら、「剥がれにくく、割れにくい、食洗機対応」の漆となるのです。従来よりも乾燥が早いため、マルチロール漆を美しく仕上げるには、熟練した職人の技が必要とされます。